様式１

主任技術者の兼務承認申請書

（発注者）佐　賀 市 長

所 在 地

商号又は名称

代 表 者

主任技術者専任の緩和措置について新規対象工事に下記の技術者を配置したいため、　発注者双方の承認を頂きたく下記のとおり申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 技術者氏名 | （フリガナ） |
|  |
| 既発注工事 | 工事番号／工事名 | 第　　　号　　　　　　　　　　　　　　　　　工事 |
| 施工場所 |  |
| 発注機関名 |  |
| 落札金額（税込） |  |
| 契約工期 |  |
| 工事概要 |  |
| CORINS登録の状況 | 未登録 ・ 申請中 ・ 登録済 |
| 発注機関の承認欄 | 上記内容について承認します。○○課長　佐賀　太郎　　　 |
|  |
| 新規対象工事 | 工事番号／工事名 | 第　　　号　　　　　　　　　　　　　　　　　工事 |
| 施工場所 |  |
| 発注機関名 |  |
| 落札金額（税込） |  |
| 契約工期 |  |
| 工事概要 |  |
| 兼務申請理由（番号） |  |
| 対象工事との距離 | ｋｍ |
| 発注機関の承認欄 | 上記内容について承認します。○○課長　佐賀　次郎　　（表面） |

（添付書類）

１） 申請にあたっては、既発注工事の担当課に対し兼務させようとする新規対象工事の　施工場所及び工事概要がわかる書面（位置図、図面等）を提示し承認を得ること。

２ ）また、新規対象工事の発注担当課に対しては既発注工事の施工場所及び工事概要がわかる書面（位置図、図面等）を提示し承認を得ること。

（記載要領）

１）「既発注工事」は、既に主任技術者として配置している情報を記載すること。

※監理技術者として従事している場合、兼務は認めない。

２）「ＣＯＲＩＮＳ登録の状況」は、該当する状況に「○」を付けること。

３）「新規対象工事」は、今回主任技術者を兼務させようとする工事について記載すること。

４）「兼務申請理由」は、今回の申請理由について次のいずれか該当する番号を記載すること。

1. ：工作物に一体性若しくは連続性が認められる工事であるため
2. ：施工にあたり相互に調整を要する工事であるため

５）「対象工事との距離」は、既発注工事と新規対象工事の直線距離を記載すること。

６）「工事発注機関の承認欄」は、双方の発注機関に内容の確認を依頼し承認を得ること。

７）承認欄は、発注担当課の所属長とする。

（留意事項）

１）専任の主任技術者の兼務が認められるのは、以下の全てに該当し、発注者が工事の 品質及び安全性が確保されると判断した場合に限る。

(1) 工事の対象となる工作物に一体性若しくは連続性が認められる工事又は施工にあたり相互に調整を要する工事であること。

(2) 工事現場の相互の間隔が概ね10ｋｍ程度（直線距離）の近接した場所であること。

(3) 兼務できる工事は、専任が必要な工事を含む場合は、原則2件までとする。

２)申請前に、必ず契約監理課（上下水道局は財務課）にて技術者の重複確認をすること。

３)申請書は開札後、速やかに工事担当課に主任技術者の兼務承認申請書（様式１）を提出し承認を得て、契約を締結すること。（契約時に主任技術者の兼務承認申請書の写しを提出すること。）

（裏面）